(4) 文化・芸能分野

① ウチナーチャンプルーフェスタ

ア 日 時

平成18年10月12日(木)～10月15日(日)
10：00～21：00（12日のみ13：00～21：00）

イ 会 場

宜野湾市海浜公園多目的広場

ウ 主 催

第４回世界のウチナーンチュ大会実行委員会 (財)自治総合センター

◆チャンプルー交流祭（ステージイベント）

野外ステージや広場では、４日間にわたり各国の民俗芸能や青年エーサー、地元ミュージシャンによるステージなどが繰り広げられた。海外県人会からは９団体が出演し琉球舞踊や空手の演舞を披露した。また、ブラジル･サンパウロで活躍する県系３、４世のアマチュアバンド「トントンミー」は13日、15日に出演、サンバ調にアレンジした沖縄民謡などを演奏し会場を沸かせた。

世界のダンスフェスティバルでは、フラメンコ、サルサ、ベリーダンスなどが披露され、ステージと観客が一緒になって盛り上がった。

■チャンプルー交流祭プログラム

	10月12日（木）	10月13日（金）	10月14日（土）	10月15日（日）
12：30				
13：00			〈子供エイサー〉 豊見城ジュニアリーダークラブ ニックス・ハマヤー太鼓／夢宝太鼓 ジュニアスタディーツアー参加者	〈インディーズフェスタ〉 ボイストラブル、 HIRUGI.co、SOUTH 海外移住者子弟研修員三線サークル
14：00		〈沖縄民踊、ダンス〉 沖縄県民踊研究会 さつき保育園	〈沖縄の芸能〉 奥武島棒術保存会 うるかクイチャー愛好会、N'jami	〈世界の芸能〉 リョーハウォリアロハ、 デュオ・パマルカ、トントンミー、 ミシガン沖縄県人会・ニューヨーク沖縄県人会＆ローカル沖縄グループ・ヤカラーズ
15：00	〈世界に響けマーチング〉 嘉数中学校、西原高等学校	〈世界の芸能〉 ワシントンD．C．沖縄会、DFWチャンプルー沖縄県人会、ミシガン沖縄県人会・ニューヨーク沖縄県人会＆ローカル沖縄グループ	〈ヤングオキナワンミュージックフェスタ〉 mami、石川清貴 ニュータウナー、かりゆし58	
16：00	〈島唄の世界〉 けん坊 with ボーチラーズ teamくくる、黒島　新	〈カラオケ大会〉	〈スペシャルゲスト〉トレイシートグチ	〈青年エイサーフェスティバル〉 謝苅青年会 津嘉山青年会 伊芸区青年会
17：00	〈スペシャルゲスト〉知花くらら 〈オールディーズ〉コイナ、B-ONE	〈歌の世界〉 奈月 〈世界の芸能〉 フィリピン沖縄県人会 インディアナ沖縄ダンスクラブ ユーユー会、オハイオ沖縄友の会	〈世界の芸能〉 ジャクソンビル沖縄県人会 本竹絹子琉舞研究所、花やから	
18：00	〈島唄の世界〉オハイオ州ぬち花会 宮園ゆうこ、具志堅ファミリー、 ネーニーズ	〈島唄の世界〉 hirara、トントンミー	〈ラテンナイト〉 DFWチャンプルー沖縄県人会、 ユタ州沖縄県人会踊りの会、 オ・ペイシ・キ・リ・ダ・コザ 平　ゆき ロベルト・デ・ロサーノ カチンバ1551	〈ファイナルコンサート〉 宮城マモル、ネーネーズ、 池田　卓、日出克
19：00	〈オキナワンロック＆ジャズの夕べ〉 宮永　英一 川門　正彦 テリー重田 我如古　よりこ	〈世界のダンスフェスティバル〉 琉球ボンバーズ・梅花会・ペニャフラメンカ・ラスセレナス／メキシコの踊りバレフォンクロリコ／牡丹／スタジオ・クラベリオ／琉球台湾婦人会／ベリーダンスチームプリシラ／リカルド島袋フラメンコ・タンゴスタジオ／コラソンアンディーノ		
20：00				
21：00				〈グランドフィナーレ〉 ディアマンテス

◆文化体験ワークショップ

沖縄の文化を海外参加者に体験してもらうため、三線・エイサー・紅型の教室を開催した。三線教室では南米から来県し中部の市町村で研修しながら三線を習っている研修生も指導にあたるなど交流を持った。教室は毎回盛況で、海外参加者からは非常に喜ばれる内容だった。

1　三線教室
　　1日3回（定員1回15名）
2　エーサー教室
　　1日4回（定員1回20名）
3　紅型教室
　　1日70名

◆ワールドバザール

会場に「世界の味コーナー」「沖縄の味コーナー」「世界の物産コーナー」「沖縄の物産コーナー」の飲食・物販のブースを設置した。世界の料理コーナーは中南米の料理の出店が多く、連日長蛇の列ができ賑わっていた。沖縄の物産コーナーでは多くの大会参加者が買い物をする姿が見られた。

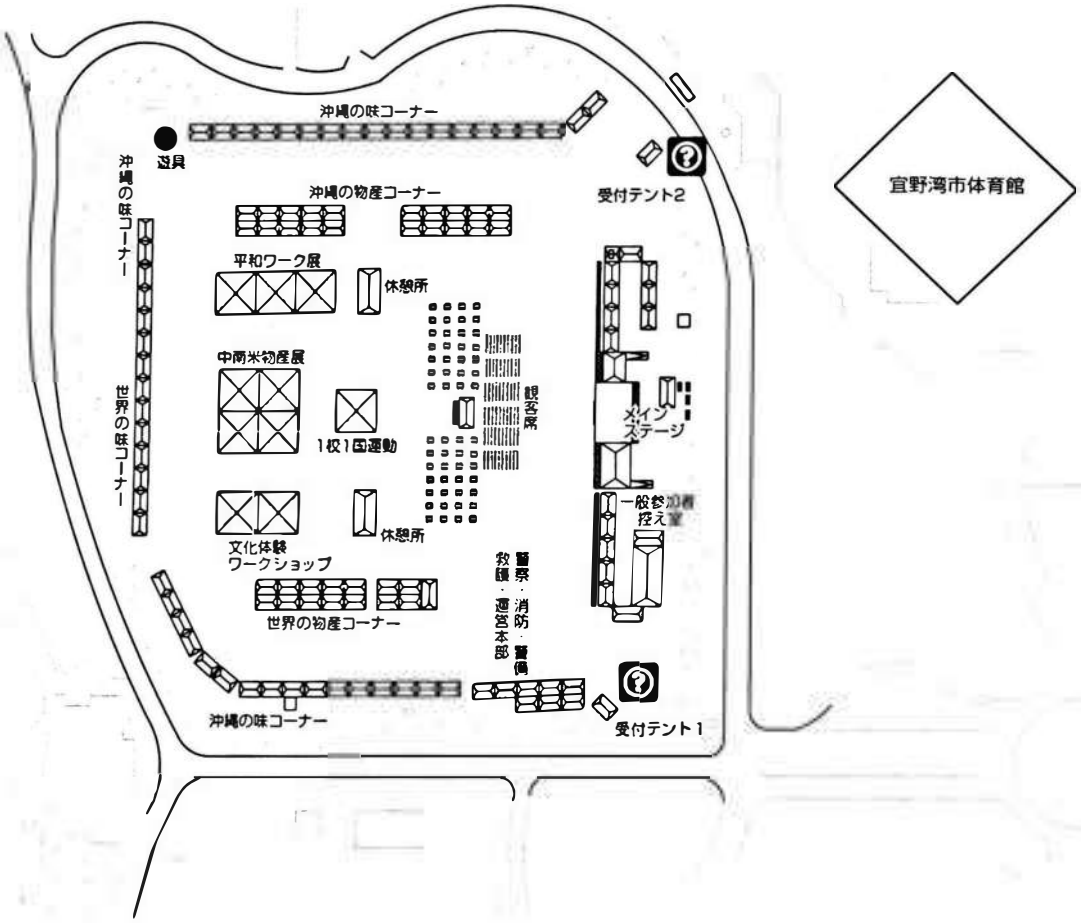
また、会場内には大会のプレイベント「ジュニアスタディーツアー」に参加した県内の中・高校生がツアーの様子を写した写真パネル展を実施。準備から当日の運営まで県内参加者全員で行い、さらに、ツアー中に習得したエイーサーをステージで披露するなどお互いの絆を深めることができた。

1　各種コーナー
- 飲食コーナー：51ブース
- 物販コーナー：31ブース
- 中南米物産展
- ジュニアスタディーツアーパネル展

2　共　催：沖縄タイムス社

ワールドバザール出店企業
1　沖縄県出店業事業協同組合（19業者）
2　沖縄ブラジル協会
3　南風堂株式会社
4　オブリガード
5　グローバルキッチン明日
6　㈱ホクガン
7　ＴＵＳＡＭＩＧＯＳ
8　㈱エナジック
9　ペーニャあまんかい
10　㈱レキオスＦＣ
11　㈲なかむら食品
12　新城工作所
13　㈲仲尾次三線なんでも屋
14　アピスブラジル
15　（資）三線館
16　㈱セットカラー
17　南都物産㈱
18　バイオ21株式会社
19　㈱座間味こんぶ
20　日本郵政公社
21　日本電気株式会社
22　織り処草木屋
23　さんしん工房こうへい
24　沖縄県レコード商組合
25　ＮＰＯ法人ＡＢＣジャパン
26　沖縄県人形制作販売協同組合
27　沖縄交易㈱中国物産館
28　㈱アンテナ
29　㈲イージーコール
30　又吉薬草園
31　プラステル株式会社
32　ゴヤケーキ
33　沖縄図書販売
34　那覇出版社
35　メキシコ沖縄県人会
36　在亜沖縄県人連合会
37　だいにちシール
38　花やから
39　ペルー沖縄県人会
40　タイ国沖縄県人会
41　ハッピーメロンパン

■ウチナーチャンプルーフェスタ会場レイアウト



② 琉球古典芸能鑑賞会

ア 日 時

平成18年10月13日（金）

昼の部 14：00～16：00

夜の部 18：30～20：30

イ 会 場

国立劇場おきなわ 大劇場

ウ 共 催

国立劇場おきなわ

エ 概 要

「国立劇場おきなわ」という最高の舞台で、大会参加者に琉球舞踊や国の重要無形文化財である「組踊」を鑑賞してもらった。華やかな衣装に身を包み踊られる琉球舞踊の数々。組踊の中でも人気の高い家族の愛と絆を描いた世話物「花売の縁」の上演。大会参加者は世界に誇る沖縄の伝統芸能の素晴らしさを堪能した。

オ 上演内容

【第１部】～琉球舞踊～ 県立芸大ＯＢ会

１．無踊「四つ竹」（８人）

〔踊り手〕 比嘉いずみ、儀間美明、花岡貴子、 伊波妙、與那嶺奈津子、石川詩子、伊佐幸子、山城亜矢乃

２．舞踊「上り口説」（３人）

〔踊り手〕 平田智之、嘉数道彦、佐辺良和

３．舞踊「かせかけ」（２人）

〔踊り手〕 奥原めぐみ、瀬名波牧

４．舞踊「瓦屋節」（１人）

〔踊り手〕 儀間美明

５．舞踊「浜千鳥」（４人）

〔踊り手〕 伊佐幸子、伊波妙、花岡貴子、山城亜矢乃

６．舞踊「谷茶前」（２人）

〔踊り手〕 嘉数道彦、與那嶺奈津子

７．舞踊「加那よー天川」（２人）

〔踊り手〕 比嘉いずみ、佐辺良和

〔地謡〕

【歌･三線】花城英樹、上原睦三、神谷大輔

【箏】名護みのり 【笛】

【胡弓】與儀朋恵 【太鼓】高宮城実人

【第２部 組踊り】

～高宮城親雲上作「花売の縁」～

「花売の縁」 指導：瀬底正憲

〔配役〕 森川の子 大田守邦

乙樽 新垣 悟

鶴松 知花令磨

猿引 阿嘉 修

猿 豊永姫子

薪木取 瀬底正憲

〔地謡〕

【歌･三線】中村一雄、大城長俊、砂辺孝真

【箏】島袋八重子 【笛】大湾清之

【胡弓】又吉真也 【太鼓】金城盛松

③　首里城公園「琉球王朝―舞への誘い」

ア　日　時

平成18年10月９日（月）～15日（日）

１日３ステージ／１ステージ50分

１回目　11時～11時50分

２回目　14時～14時50分

３回目　16時～16時50分

イ　会　場

首里城公園下之御庭　系図座・用物座

ウ　主　催

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所・(財)海洋博覧会記念公園管理財団首里城公園管理センター

エ　概　要

琉球王国の象徴である首里城で開催されている「琉球王朝－舞への誘い」を大会記念として実施し、王朝時代に育まれた琉球舞踊を世界のウチナーンチュに披露した。また、海外で琉球舞踊を継承する方々と地元の舞踊家が共演し交流を深めた。

オ　演　目

10月９日（月）

【綾（あや）】

- 若衆特牛節
- 前の浜
- かせかけ
- 上り口説
- 伊野波節

10月10日（火）

【朱（あけ）】

- 四ツ竹
- 高平良万歳
- 稲まづん
- ゼイ
- 女特牛節
- 本貫花

10月11日（水）

【綾（あや）】

- 若衆特牛節
- 前の浜
- かせかけ
- 上り口説
- 諸屯

10月12日（木）

【朱（あけ）】

- 四ツ竹
- 高平良万歳
- 稲まづん
- ゼイ
- 女特牛節
- 本貫花

10月13日（金）

【綾（あや）】

- 若衆特牛節
- 前の浜
- かせかけ
- 上り口説
- 伊野波節／諸屯

10月14日（土）

【綾（あや）】

- 若衆特牛節
- 前の浜
- かせかけ
- 上り口説／下り口説
- 伊野波節／諸屯

10月15日（日）

【特別演目】

- 若衆特牛節
- 四ツ竹
- 柳／作田
- 高平良万歳
- しゅんだう

④　ミュージカル「海から豚がやってきた!!」

ア　日　時

平成18年10月14日（土）

昼の部　14：00～16：15

夜の部　18：00～20：15

イ　会　場

沖縄コンベンションセンター　劇場

ウ　共　催

うるま市　うるま市教育委員会

エ　協　力

「海から豚がやってきた」実行委員会

オ　入場者数

昼の部 1,800名　　夜の部 1,700名

カ　概　要

終戦直後の1948年、戦争で破滅的な被害を受けた沖縄の惨状を伝え聞いたハワイのウチナーンチュ（布哇連合沖縄救済会）が、郷里沖縄の救済のために、募金やチャリティー公演などで資金を集め、550頭の豚をアメリカオレゴン州で買い付け、アメリカ陸軍省提供の軍用船で嵐や機雷に遭遇しながらも、無事沖縄へ送り届けたという実話をもとに企画制作されたミュージカルで、この物語は、世界のウチナーンチュが郷里に寄せる想い、同胞愛の原点ともいえる温かいゆいまーる精神と絆の深さを良く表しているドラマである。

沖縄県うるま市での公演に始まり、ハワイ、ロサンゼルスでも公演され、感動を呼び大成功を収めていた。

今回、豚を送り届けた７人の勇者の一人上江洲易男氏もハワイから大会に参加しており、ミュージカル上演前のセレモニーでは、出演者から上江洲氏に花束が贈呈された。

また、ハワイ救済運動のきっかけをつくった故比嘉太郎氏の息子を特別ゲストとして招待し、比嘉太郎役で出演した。さらに、ハワイ、ロサンゼルス公演に出演した子供達を招待し、県内の子供達と同じ舞台で共演し交流を図った。

⑤ 琉球交響楽団コンサート

ア 日 時

平成18年10月15日(日) 15：00～16：30

イ 会 場

沖縄コンベンションセンター 劇場

ウ 入場者数

2,400名

エ 概 要

沖縄のわらべ歌や島唄などをクラシックのアレンジで披露した。序曲として大会テーマソング「ニライへの風」で始まり、クラシックで奏でられるふるさと沖縄のメロディーに、観客は惜しみない拍手を送った。

最後の「だんじゅかりゆし変奏曲」は、三線、エイサー太鼓も登場し会場を沸かせた。オーケストラと三線、エイサー太鼓が織りなす演奏で、舞台と観客がひとつになり、大盛況のうちに幕を閉じた。

オ 出 演

- 琉球交響楽団 53名編成 代表：祖堅方正
- 指揮 大勝秀也
  (沖縄県立芸術大学音楽学部助教授)
- 三線隊
- パーランクー

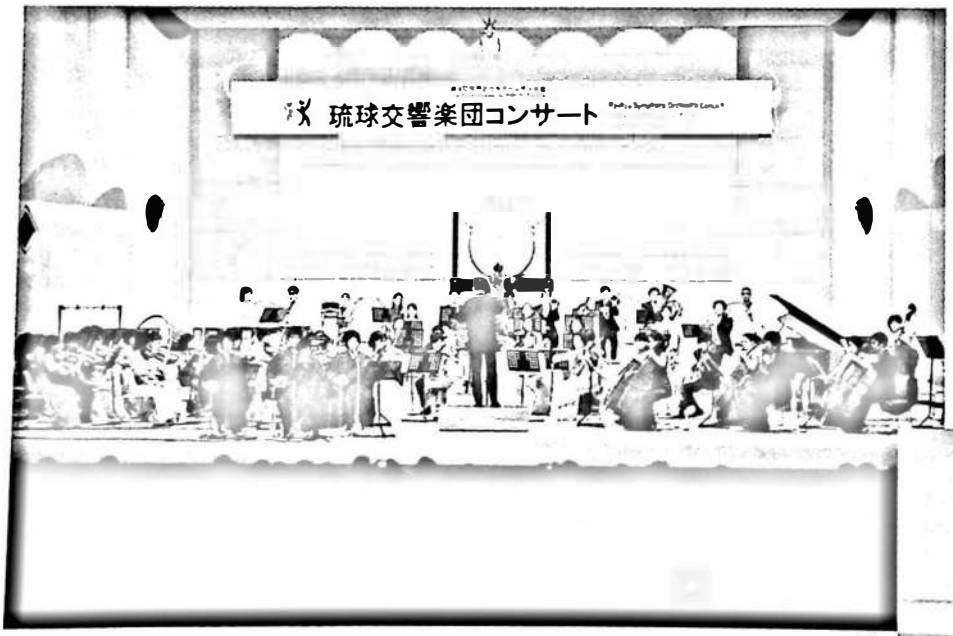
カ 琉球交響楽団プロフィール

2000年春に「沖縄の地に本格的なプロのオーケストラを作り育てたい」という熱い思いを持ったメンバーで設立委員会が発足。ミュージックアドバイザーに世界的な指揮活動 を行っている大友直人氏を迎え、ベートーベンの「第九」演奏会や年２回の定期演奏会、学生を対象とした音楽鑑賞教室などを開催し、いずれも高い評価を受けている。県民とともに歩み、愛される息の長い演奏活動をモットーに県内を中心に活躍している。

キ オーケストラ編成

指揮者：大 勝 秀 也

コンサートミストレス：與那嶺 理 香



Violin（17名）

赤嶺　志麻子　　阿波根　由　紀
新垣　好　美　　有路　美　咲
石川　文　乃　　海勢頭　　愛
金城　千賀子　　國吉　佐知子
島袋　真　希　　高宮城　徹　夫
竹内　元　子　　永山　蕗　江
野瀬　陽　樹　　宮良　美　香
山川　はるみ　　山里　郁　子
吉川　絵里菜

Viola（6名）

新垣　伊津子　　大嵩　有　紀
奥山　愛　美　　片倉　多　恵
佐渡山　安　哉　　比嘉　佐和子

Violoncello（6名）

井尻　兼　人　　具志堅　真　紀
蔵本　あさの　　佐久本　大　輔
津波古　　恵　　佐藤　京　子

Contrabass（3名）

金城　智　里　　国吉　和　美
原國　智　江

Flute（2名）

石垣　　円　　眞榮田　えり子

Oboe（2名）

宇座　貴美恵　　砂川　志　乃

Clarinet（2名）

内間　保　子　　根間　安　代

Fagotto（2名）

潮平　大　作　　外薗　志　保

Horn（2名）

上原　正　弘　　宮城　須賀子

Trumpet（2名）

田中　孝　子　　山川　洋　樹

Trombone（2名）

井上　真紀子　　波平　　茂

Tuba（1名）

稲嶺　哲　也

Timpani（1名）

屋比久　理　夏

Percussion（3名）

赤嶺　聖　良　　池山　浩史郎
宮里　舞　子

Piano（1名）

上原　玲　子

※五十音順

ク　プログラム

時間	内　　容
14：30	◇開　場
15：00	◇開　演 1　第4回世界のウチナーンチュ大会 テーマソング「ニライへの風」 2　安里屋ユンタ 3　てぃんさぐぬ花 4　いったー　あんまー　まーかいが 5　豊年音頭 ―休憩15分― 6　十九の春 7　島唄 8　童神 9　芭蕉布 10　だんじゅかりゆし変奏曲
16：30	◇終演

⑥ ＮＨＫのど自慢

ア　本選日時

平成18年10月15日（日）　12：15～13：00

イ　予選会

平成18年10月14日（土）　13：00～18：00

ウ　会　場

宜野湾市民会館大ホール

エ　主　催

NHK沖縄放送局
宜野湾市
第４回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

オ　参加者数

予選会出場者数：21名
本選出場者数：４名

カ　概　要

海外でも親しまれている「ＮＨＫのど自慢」を世界のウチナーンチュ大会記念として開催した。海外からは予選会に21名出場し、そのうちアメリカや南米から参加した４名が本選に出場。アルゼンチン出身の留学生仲宗根シルビア早苗さんが優勝した。会場には海外参加者も駆けつけ、のぼりや横断幕を振って応援した。

⑦　空手道・古武道交流祭

ア　日　時

平成18年10月14日(土)　9：30～17：30

10月15日(日)　10：00～14：00

イ　会　場

県立武道館

ウ　概　要

沖縄を発祥の地とする空手道・古武道は、今日、世界150カ国に400万人の空手人口を擁するとも言われている。沖縄固有の伝統文化・スポーツであるとともに、世界に誇る文化としてたゆまなく発展している。

平和の武としての空手道・古武道は世界のウチナーンチュにとっても沖縄のアイデンティティーを形成する大きな柱である。海外に人気の高い空手の交流祭を沖縄で開催し、空手発祥の地沖縄をアピールするとともに、空手を通した相互交流を図るため開催した。

エ　プログラム

平成18年10月14日(土)　9：30～17：30

《第一部　沖縄空手の伝統》

映像「沖縄空手の歴史と源流」を場内のスクリーンで放映しつつ、各流派の演武を展開。併せて県指定無形文化財保持者の先生方の表彰と功績の紹介を映像を通しておこなった。

- 一般演武（空手・古武道各団体）
- 県指定無形文化財保持者の表彰と功績紹介

《第二部　沖縄空手の未来へ》

沖縄空手の若い担い手たち、少年少女・高校生・学生、さらに女性空手家たちの演武を紹介し、継承と未来への力強い息吹を表現した。

- 少年少女の全体演武
- 参加各団体別の小学生・中学生・高校生・大学生の演武
- 「空手は女性の時代！」と題した、流派を超えた初の“女性空手家たちの集団演武”

〈第三部　交流こそ力〉

- 一般演武（空手・古武道各団体）
- 県外及び海外からの参加者による演武

〈エンディング〉

- 空手・古武道の高段者による模範演武
- 集団演武

10月14日（土）　10：00～14：00

〈スーパーセミナー〉

海外及び県外からの空手・古武道の愛好家の希望者を対象にしたセミナーを実施。

- 県指定の無形文化財保持者の先生方による直接指導
- 範士クラスの高段者による模範演武と指導演武
- 受講者には受講修了証を交付する。

【沖縄県指定無形文化財保持者】

- 宮平勝哉　• 仲里周五郎　• 友寄隆宏
- 伊波康進　• 湧川幸盛　• 仲里常延

(5) 経済・産業分野

① ワールドビジネスフェア

ア 日 時

10月12日(木)～10月15日(日)

12日	13：00～21：00
13日・14日	10：00～21：00
15日	10：00～18：00

イ 会 場

宜野湾市立体育館

ウ 共 催

琉球新報社

エ 概 要

海外と沖縄の経済的なつながりを形成し、経済交流が持続的に行われることを目的に開催。県内外の物産等の展示・販売や出展企業によるプレゼンテーション、お楽しみ抽選会、「世界のウチナーンチュ」テレビ番組の放映などを行った。そして、ステージにおいては、より具体的なウチナービジネスネットワーク形成を目的としたシンポジウムを開催した。

オ 内 容

◆展示・販売コーナー

県内外の53の企業・団体が出展し、商品の紹介や販売を行った。

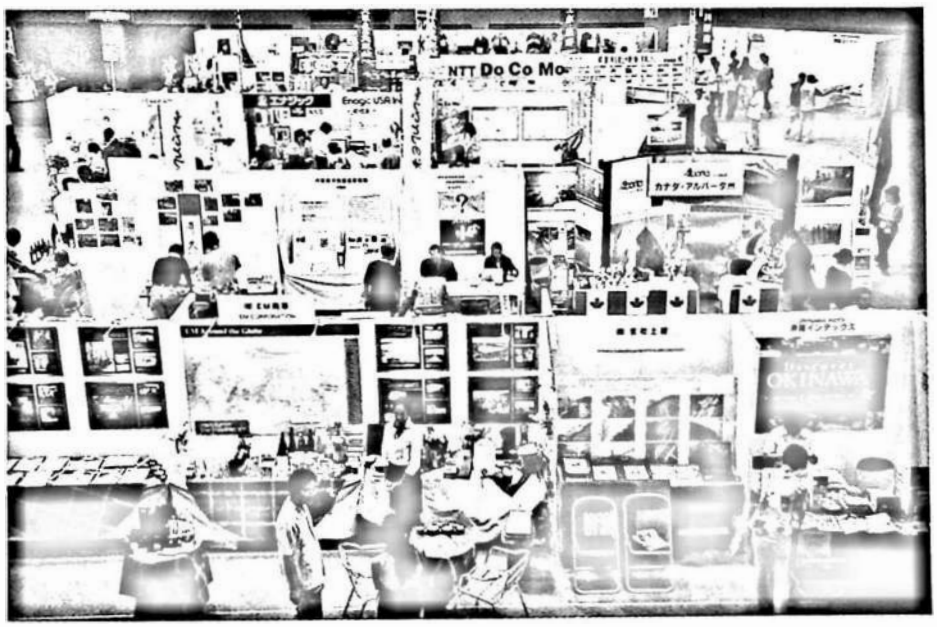
ワールドバザール出展企業

1　㈱日立製作所
2　Okinawan Jewellers Lab
3　㈱ＮＴＴドコモ九州
4　㈱パラダイスプラン
5　YOSAPARKオリーブ
6　㈱キーストンポートターミナル
7　ハートコーポレーション
8　㈱エナジック
9　㈱佐喜眞義肢
10　㈱マックトリート
11　ホリスティック・ケア製薬㈱
12　ニライカナイセンター
13　㈱琉球漆器
14　㈱沖縄スタイル
15　海音（しおん）笛工房

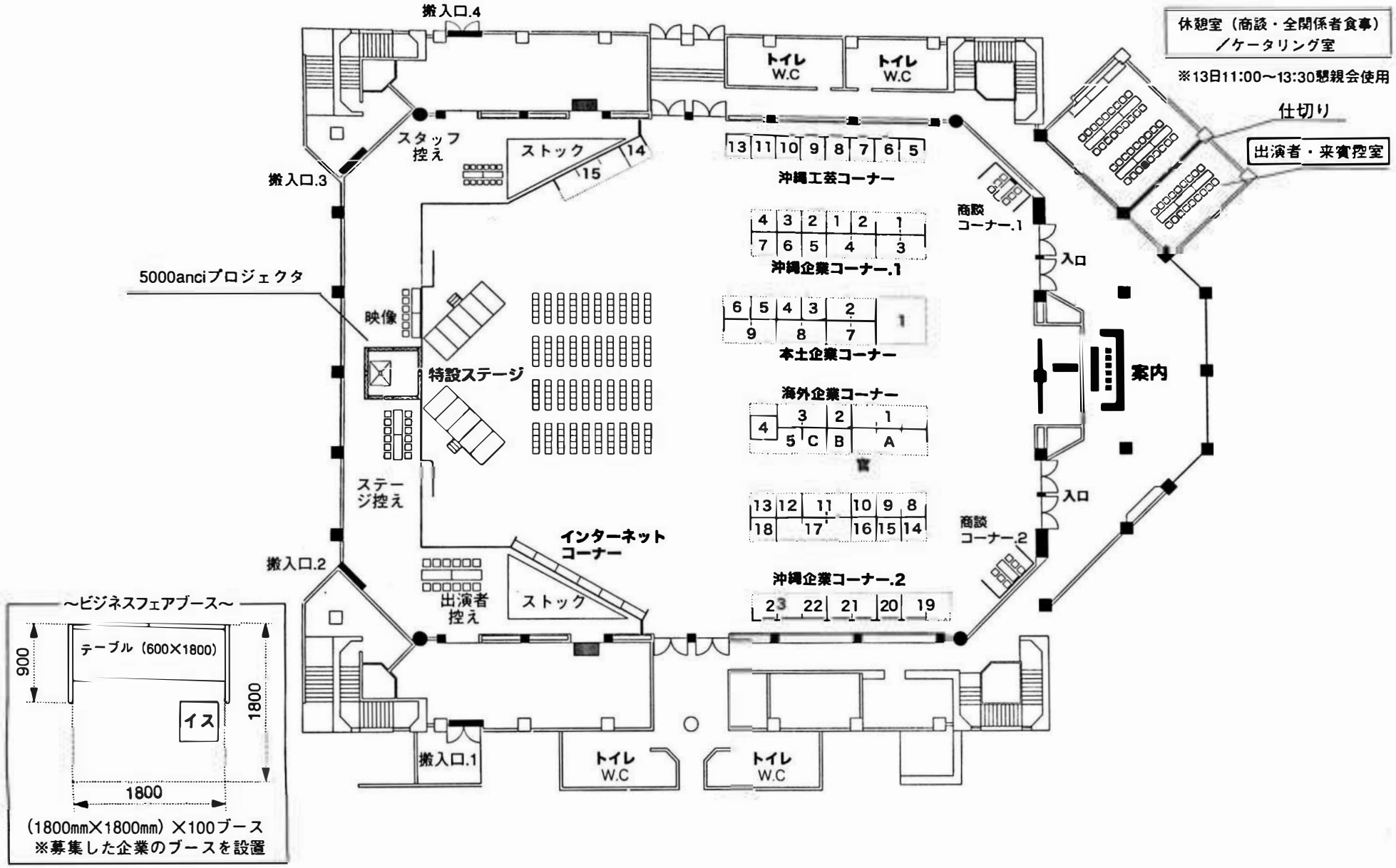
16 ㈱京和土建
17 ㈲知名御多出横
18 ロコロコ沖縄
19 ㈲アクア
20 ㈱琉球バイオリソース開発
21 ㈱南海
22 ㈱イワキ
23 ㈱パイプニット
24 ㈱日進商会
25 かりゆしデザイン事業協同組合
26 グッピー衣料
27 アピスブラジル
28 ゆいまーる沖縄㈱
29 ㈱フソー
30 共進貿易株式会社
31 クイチャーパラダイス
32 NPO法人沖縄O.C.E.A..N.
33 株式会社プラザハウス
34 沖縄インデックス
35 玉舟
36 首里織あゆは工房
37 カナダアルバータ州政府在日事務所
38 沖縄貿易センター（JETRO）
39 沖縄総合事務局
40 ㈲EM商事
41 ㈲福路有
42 合資会社ワブショップ沖縄
43 ㈱南新
44 Asan Trading Exchanges LTD
45 ㈲世界のウチナーンチュ
46 ㈱沖縄映像センター
47 ㈱オーシーシー
48 沖縄ツーリスト㈱
49 ㈱久米島の久米仙
50 ㈱マドンナ
51 ㈱ベルク食品
52 Kayo Sotai Clinic & Prof. T. Yonemori
53 ＷＵＢ関西

◆企業プレゼンテーション

フェアに出展している企業による事業や製品のプレゼンテーションを行った。



■ビジネスフェア会場レイアウト



◆ビジネスシンポジウム

第１部

「世界のウチナーンチュ達の活躍」～海外のビジネス状況～

平成18年10月13日（金）　10：30～12：00

1　コーディネーター

前原　信一

（沖縄テレビ放送取締役報道制作局長）

2　パネリスト

屋宜　宣太郎　アルゼンチン

（共進貿易株式会社代表取締役社長）

島袋　正克　ボリビア

（㈱伊島代表取締役）

又吉　真由美　香港

（En Group Limited ＆ Ocean Line Hong Kong Company Limited 代表取締役社長）

伊江　朝彦　ブラジル

（アピスブラジルプロポリス社常務取締役）

3　内　容

海外で活躍している各パネリストのビジネスの現状や、今後のビジネス展開などが語られた。パネリストからは、WUBと連携したビジネスの展開や海外の県系人が作った商品を『もうひとつの沖縄』という統一ブランドで売り出すアイディアなどの意見があった。また、世界のウチナーンチュ同士のネットワークや企業間のネットワークの必要性について話し合われた。

第２部

「沖縄のビジネスチャンス」～ウチナービジネスネットワークの形成と可能性～

平成18年10月13日（金）　13：30～16：00

1　コーディネーター

島田　勝也

（㈱ＮＴＴ西日本沖縄ＩＴビジネス部ビジネス推進担当）

2　講　演

鹿戸　丈夫

（米州開発銀行駐日事務所長）

田中　邦人

（ジェトロ沖縄貿易情報センター所長）

3　パネリスト

島袋　正也

（㈱久米島の久米仙専務取締役）

当銘　由洋

（沖縄県北米委託駐在員）

ポール・キャンドランド

（ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナショナルジャパンマネージングディレクター）

平良　由乃

（㈱プラザハウス専務取締役）

糸数　康弘

（㈱グロウリッチ代表取締役）

4　内　容

「沖縄」をキーワードにしたネットワーク形成の可能性やビジネスコミュニケーションの方法、今大会を契機に立ち上げた「ウチナービジネスネットワーク－企業リスト－」ホームページの活用について話し合われた。

ホームページについては、更新の必要性、若い人達を取り込む仕組みづくり、さらに、このネットワークを活用した留学やホームステイの提供などについて意見が交わされた。

第３部

「未来に向けてのビジョン」～ウチナーブランドネットワークの魅力と可能性・沖縄の役割～

平成18年10月14日（土）　13：00～15：30

1　コーディネーター

玉城　朋彦

（テレビキャスター）

2　講　演

東　　良和

（ＷＵＢ沖縄会長）

3　パネリスト

与那嶺　真次

（ＷＵＢインターナショナル会長）

東　　良和

（沖縄ツーリスト株式会社代表取締役社長）

重田　辰弥

（関東沖縄経営者協会会長）

根路銘　国昭

（生物資源利用研究所所長）

宮平　栄治
（名桜大学国際学部経営情報学科教授）

3　コメンテーター

又吉　章元
（沖縄経済同友会事務局長）
當間　　勇
（沖縄産業振興公社専務理事）

4　特別ゲスト

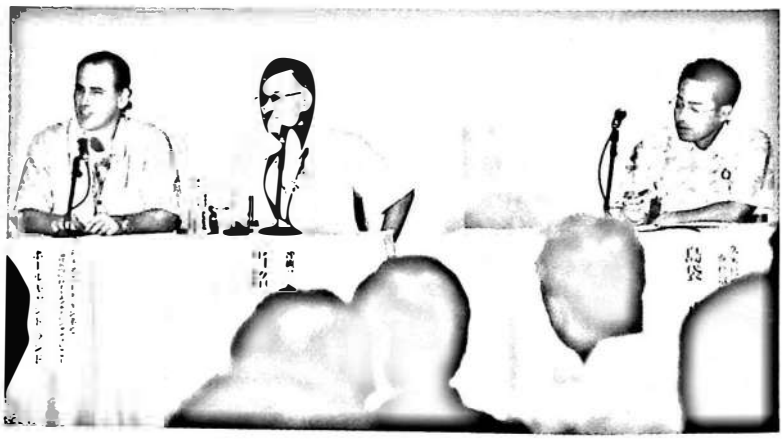
上地　　哲
（㈱デジタルあじまぁ代表取締役）
安里　勝之
（㈲ＥＭ商事代表取締役社長）

5　内　容

今後、沖縄のリーディング産業のキーワードとなる健康、環境、観光分野のビジネス事例が紹介された。

海外にビジネスを展開する場合、沖縄県産業振興公社の海外事務所と連携した取り組みの必要性や海外ビジネスをマッチングするコーディネーターの必要性についての意見があった。

沖縄が持っているネットワークは資源であり、「ウチナービジネスネットワークー企業リストー」ホームページを活用したビジネス展開は有望であるとの意見が出された。今後は企業リストの拡充を図り、ビジネスを核とした「ウチナー・ブランド・ネットワーク」ホームページとし、これをさらに発展させるため支援していくことが確認された。



(6) 平和・国際貢献分野

① 元２世通訳兵への感謝状贈呈

ア 概　要

第２次世界大戦中の沖縄で、壕・亀甲墓等に避難していた住民を救出した日系２世通訳兵がいた。また彼らは沖縄戦終結後はアメリカ軍政府と沖縄住民の間に立って戦後の復興にも寄与した。この元２世通訳兵の人道的活動に対して、戦後60年の節目にあたり感謝状を贈呈することとし、その多くが在住していると思われるハワイやロスアンゼルスに赴き実態調査を行った。

その結果、感謝状贈呈の対象となる元２世通訳兵等は332名であり、所在が確認できたのは118名であった。

a　通訳兵170名

1944年ハワイにおいて１～２週間の短期訓練を受け、沖縄に上陸した日系２世で対象者は170名。所在が確認できた人数は88名。

(ハワイ81名、カリフォルニア４名、メリーランド１名、沖縄２名)

b　語学兵162名

全米から志願、勧誘され、米国陸軍情報部日本語学校を卒業した日系２世で対象者は162名。所在が確認できた人数は30名。

(ハワイ23名、カリフォルニア５名、ワシントン１名、アリゾナ１名)

イ 感謝状贈呈式

元２世通訳兵への感謝状贈呈式は、第４回世界のウチナーンチュ大会の北米キャラバンにあわせてハワイとロサンゼルスで行った。

a　ハワイ2006年６月５日（月）ハワイ沖縄センター

式には、今回感謝状を贈呈することが決定した118人の元通訳兵のうち41名(代理出席含む）が出席し、大会実行委員会会長の稲嶺惠一知事から感謝状が贈呈された。

稲嶺知事は、元２世通訳兵の沖縄県民のために行った人道的な行動に感謝の意を述べるとともに、県では今後も平和を希求していくことを誓った。

これに対し、元２世通訳兵を代表してマイク宮城さんが、時代が過ぎ、悲惨な戦争の記憶が薄れていくなかで、このように感謝状をいただくことができ、子や孫へも戦争の悲惨さを伝えていくことができると感謝した。また、比嘉武二郎さんは今でももっとたくさんの沖縄の人たちを救うことができたのではないかと残念に思うと述べ、またこのように稲嶺知事自ら感謝状を贈呈されることをとてもうれしく思うと語った。

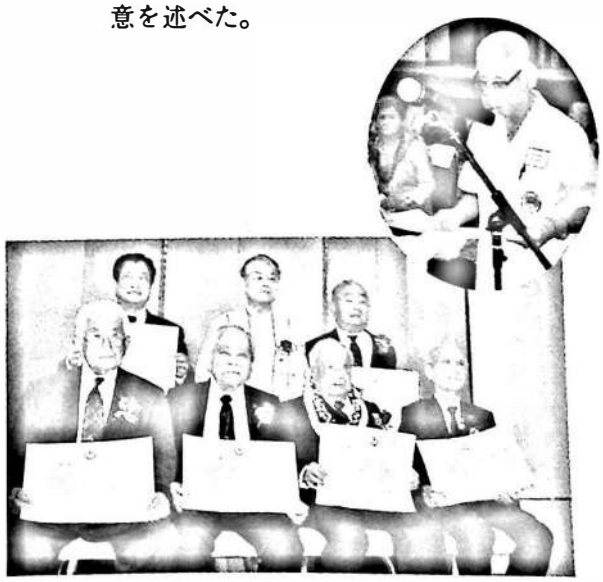
会場には元２世通訳兵やその家族、関係者など150人余りが参加した。

b　ロサンゼルス2006年６月７日（水）ホテルニューオータニ

ロサンゼルスではウチナーンチュ大会説明会のレセプション及び元２世通訳兵への感謝状贈呈式を執り行い、200人余りが参加した。

式には６名（代理出席含む）の元通訳兵の方々が出席し、ハワイでの贈呈式と同様に稲嶺知事は元２世通訳兵の沖縄県民のために行った人道的な行動に感謝の意を述べるとともに、県では今後も平和を希求していくことを誓った。

これを受けて、元２世通訳兵のフランク東さんは、２世通訳兵として沖縄へ行った経緯を語った。東さんは沖縄戦の集結直前に、当時沖縄にいた家族の身を案じ、自ら２世通訳兵に志願したこと、さらに多くの県民を壕から救い出すことができたことや家族と無事に再会できたことなどを説明し、感謝状を贈呈されたことに対し感謝の意を述べた。



② 平和体験・植樹ツアー

ア 日 時

平成18年10月10日(火) 9：00～17：40

イ 会 場

a 読谷チビチリガマ（読谷村）
b 嘉数高地（宜野湾市）
c 南風原町立文化センター（南風原町）
d 南風原陸軍病院跡（南風原町）※通過
e 糸数壕・アブチリガマ（南城市）※通過
f 沖縄県平和祈念資料館・平和の礎(糸満市)
g 平和創造の森公園(糸満市)※植樹を実施

ウ 参加者数

海外参加者／81人

フィリピン：6人、カナダ：4人、アメリカ：29人、ペルー：10人、メキシコ：12人、ブラジル：12人、中国：1人

県内参加者／7人

エ 概 要

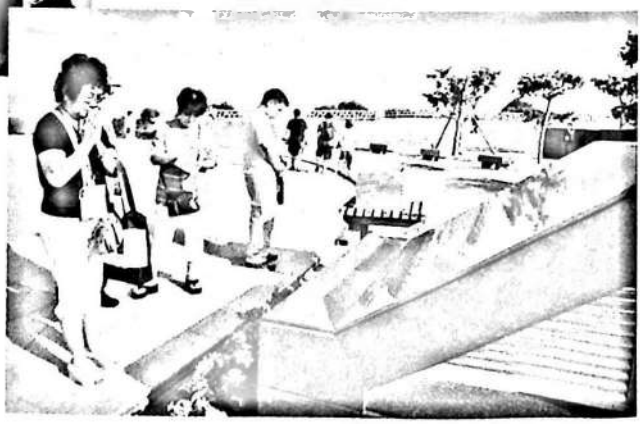
沖縄戦での日米両軍の激しい戦闘の跡を巡り追体験し、さらに終戦50周年事業として建設された「平和の礎」を参観することで、多くの方々が戦争で亡くなった事実を改めて知ってもらい平和の尊さを考える機会とする。また、第3回大会で記念植樹をした会場を視察し、植樹をすることで更なる「平和の発信」を行った。

オ 植樹木

- モンパノキ／3本
- タコノキ／3本

カ 植樹式

- 開 会
- 主催者あいさつ
  大会実行委委員会会長：稲嶺 恵一
- 海外参加者代表あいさつ
  アメリカ・サンディエゴ沖縄県人会
  会長：金城正信
- 植 樹
- 放蝶、挨拶
  首里城下にチョウを飛ばそう会
  幹事長：大城安弘
- 閉 会



③　平和ワーク「世界と沖縄」展

ア　日　時

平成18年10月12日（木）～10月15日（日）
10：00～18：00（12日のみ13：00～18：00）

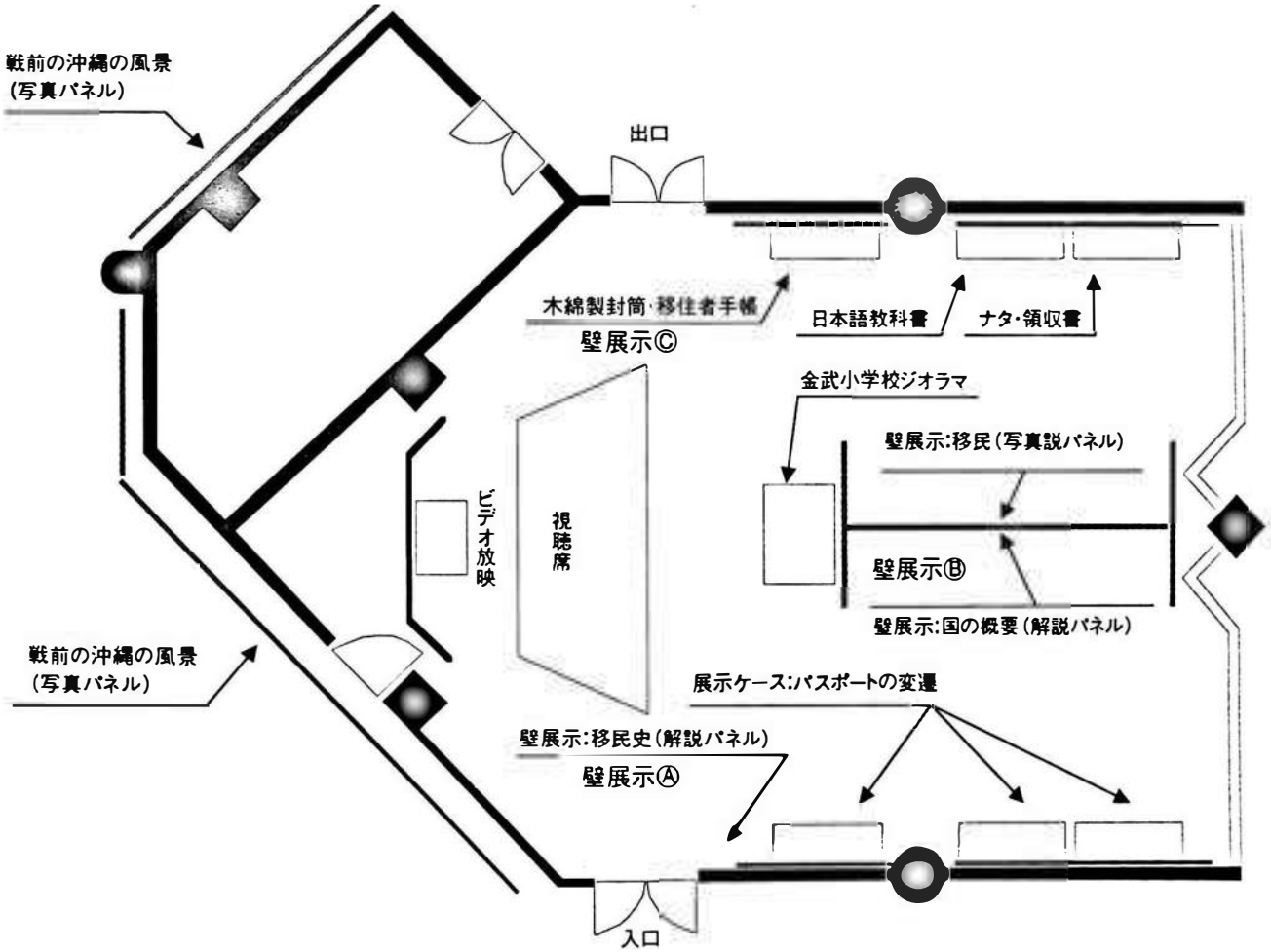
イ　会　場

移民史／沖縄コンベンションセンター・
会議場Ａ２
国際協力／宜野湾海浜公園多目的広場

ウ　概　要

コンベンションセンターの会議場では移民史の展示コーナーを設置し、移民関連のビデオや戦前の沖縄の記録ビデオを放映した。宜野湾海浜多目的広場では、JICA沖縄国際センターと連携して、国際協力事業の資料展示やワークショップを開催した。

■移民史展示／コンベンションセンター　会議場Ａ２



■国際協力／宜野湾海浜公園多目的広場

• **世界から沖縄へ**

JICA 沖縄では、開発途上国の人材育成支援を目的に、毎年約80ヶ国から300名以上の研修員を受け入れている。県内の大学や地方自治体、研究機関、民間企業など様々な機関の協力を得て実施される研修コースの様子を紹介。

• **沖縄から世界へ**

国際協力の分野で活躍する沖縄の個人・団体の活動を映像や写真で紹介。また、県出身の青年海外協力隊 OB/OG に直接体験談を聞けるコーナーも設け、海外ボランティアへの参加に関する相談も実施した。

• **世界とてをつなごう**

識字、食料、難民などを切り口に、開発途上国の人々の置かれた状況を感じていただける展示や、わたしたち一人一人にできることは何かを考えるコーナーを設置。また、JICA沖縄が実施する国際理解教育支援事業の紹介も行った。

• **オキナワボリビア歴史資料館**

ウチナーンチュ50年のボリビア移住地開拓の歴史や生活に関する資料を JICA 横浜海外移住資料館の協力でコンピュータを使って公開。

• **世界の児童画展**

世界の子どもたちが「平和」「人間」をテーマに描いた図画を200点展示した。また、コーナーを分けて、沖縄県平和祈念資料館が実施している児童・生徒の平和メッセージ展、図画の部・最優秀賞及び優秀賞９点も展示した。

• **沖縄平和賞**

沖縄県が制定した「沖縄平和賞」に関するパネルを展示し、その意義と受賞団体の紹介を行った。

(7) スポーツ分野

① 国際親善ゲートボール大会

ア 日 時

平成18年10月14日（土） 7：50～17：00

イ 会 場

奥武山運動公園・陸上競技場

ウ 参加チーム数

- 海外参加チーム／20チーム
- 県内参加チーム／64チーム

合計84チーム

エ 概 要

海外でも親しまれているゲートボールで県民とスポーツ交流を行った。競技運営に関しては、沖縄県ゲートボール連合と連携を図りスムーズな大会運営ができた。

今回は小学生チームも参加し、海外の参加者とも交流を深めた。

オ 大会結果

優 勝／アルゼンチンDチーム
準優勝／北谷町北谷Aチーム
第3位／アルゼンチンAチーム
宜野湾市宜野湾チーム

カ 参加チーム

1. アルゼンチン・アルゼンチンA
2. 〃 アルゼンチンB
3. 〃 アルゼンチンC
4. 〃 アルゼンチンD
5. 〃 アルゼンチンE
6. 〃 アルゼンチンF
7. ペルー・ペルー沖縄A
8. 〃 ペルー沖縄B
9. 〃 ペルー沖縄C
10. 〃 ペルー沖縄D
11. 〃 ペルー沖縄E
12. ブラジル・沖縄賢人会GB愛好会A
13. 〃 沖縄賢人会GB愛好会B
14. 〃 沖縄賢人会GB愛好会C
15. 〃 沖縄賢人会GB愛好会D
16. 〃 沖縄賢人会GB愛好会E
17. 〃 沖縄賢人会GB愛好会F
18. 〃 沖縄賢人会GB愛好会G
19. ボリビア・ボリビア
20. アメリカ・アメリカデイゴ
21. 今帰仁村・仲宗根
22. 伊江村・伊江村
23. 北大東村・北大東
24. 名護市・名護
25. 〃 名桜
26. 〃 ひんぷん
27. 金武町・中川
28. 〃 並里
29. 〃 金武球友会A
30. 〃 金武球友会A
31. 〃 伊芸ガジュマル
32. 〃 屋嘉七日浜
33. 〃 金武A
34. 〃 金武B
35. 〃 伊芸
36. うるま市・具志川うるま長寿会
37. 〃 具志川混成
38. 〃 勝連GB
39. 沖縄市・登川GB
40. 〃 泡瀬でいご
41. 〃 なかよし
42. 〃 翼
43. 〃 泡瀬小学校
44. 読谷村・ハイビスカス長浜
45. 北谷町・北谷A
46. 〃 北谷B
47. 〃 美ら海北谷
48. 宜野湾市・宜野湾
49. 〃 親友会
50. 浦添市・城間寿会
51. 〃 グリーンハイツ若竹会
52. 西原町・棚原
53. 〃 幸地
54. 那覇市・那覇小禄
55. 〃 那覇首里
56. 〃 真和志スポーツクラブ
57. 〃 赤嶺
58. 糸満市・豊原老人クラブ
59. 〃 福地老人クラブ
60. 八重瀬町・東平原
61. 〃 具志頭 大頓1組
62. 〃 具志頭 後原
63. 〃 具志頭 港川
64. 南城市・大里 平川
65. 〃 玉城 当山

66.　〃　玉城　浜川
67.　〃　玉城　親ヶ原
68.　〃　玉城　百名
69.　〃　知念　知念シュクナ
70.　〃　知念
71. 南風原町・兼城
72. 南風原町・本部
73.　〃　照屋
74.　〃　喜屋武
75.　〃　津嘉山
76.　〃　山川１組
77.　〃　山川２組
78.　〃　神里１組
79.　〃　神里２組
80.　〃　神里３組
81. 久米島町・ホタル久米島
82. 宮古島町・おもと
83. 石垣市・おもと
84.　〃　やいま

② 国際親善サッカー大会

ア 日 時

前夜祭／10月13日（金） 17:00～18:30
本大会／10月14日（土） 9：00～17:20

イ 会 場

前夜祭／宜野湾市屋内運動場
本大会／宜野湾市立グランド

ウ 参加チーム

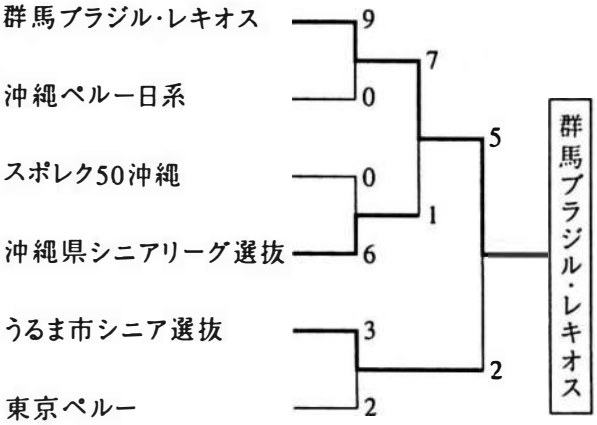
1．群馬ブラジル・レキオス
2．東京ペルー
3．沖縄ペルー日系
4．うるま市シニア選抜
5．スポレク50沖縄
6．沖縄県シニアリーグ選抜
7．浦添高等学校サッカー部

エ 概 要

サッカーを通し、より多くの人が国や世代を超えて友好と親善を深めることを目的に、県外日系人チームと県内のチームによるトーナメント戦を実施した。また、県内高校生と大会選抜チームによるエキシビッションマッチや、ジュニアを対象としたサッカー教室も開催した。

オ 結 果

優 勝／群馬ブラジル・レキオス
準優勝／うるま市シニア選抜



カ エキシビションマッチ

浦添高等学校サッカー部 VS 大会選抜チーム
6 0

キ サッカー教室

日時／10月14日（土）13：00～14：30
会場／宜野湾市立グランド
講師／ジョゼ・マリオ・クリスピン
（レキオスアカデミー／ヘッドコーチ）
ウイルソン・ブランコ・フィーリオ
（レキオスアカデミー／GKコーチ）
マミーラ・シルバ・メンデス
（女子部コーチ）
参加者／70人

(8) 応援イベント

世界のウチナーンチュを歓迎し県民との交流を図る企画や、大会の機運を盛り上げる企画を公募し、19のイベントを選定。大会実行委員会が共催し、大会前や期間中に実施され、大会を大いに盛り上げた。

催事名	**琉球國祭り太鼓獅子道ジュネー**
主催	琉球新報社
日時	2006年10月8日(日)　18：00～21：00
会場	那覇市ぶんかテンブス館前広場
内容	エイサー、伝統獅子舞、旗頭の饗宴。
催事名	**世界のウチナーンチュ写真・映像展**
主催	琉球新報社
日時	2006年10月3日(火)～6日(金)　10：00～18：00
会場	那覇市ぶんかテンブス館　3Fギャラリー
内容	世界のウチナーンチュ関連の報道記録や写真の展示・映像を紹介。
催事名	**Apostar no Sonho de Ippachi 「イッパチの夢を賭ける」**
主催	「夢をかける」実行委員会
日時	2006年10月11日(水)　19：00（1回公演）・12日(木)　14：00／19：00（2回公演）
会場	パレット市民劇場　(有料：一般2，500円／学生2，000円)
内容	南風原出身の移民2人の対照的な人生を描いた公演。ブラジル社会で伝説として語り継がれるサクセスストーリー。
催事名	**La vie de chacune　ラ・ヴィ・デゥ・シャカンヌ～それぞれの道のり～**
主催	在フランス県人会・沖仏協会
日時	2006年10月10日(火)～15日(日)　11：00～21：00
会場	那覇市ぶんかテンブス館　3Fギャラリー　(無料)
内容	フランス在住アーティストによる絵画・写真展
催事名	**Pas de Cinq　パ・デゥ・サンク～5人のピアニストによる饗宴～**
主催	在フランス県人会・沖仏協会
日時	2006年10月14日(土)　14：00／19：00（2回公演）
会場	那覇市ぶんかテンブス館　4Fホール　(有料：1，500円)
内容	フランス留学生によるピアノコンサート
催事名	**グラウンド・ゴルフ交歓大会**
主催	那覇市グラウンド・ゴルフ協会
日時	2006年10月14日(土)
会場	奥武山運動公園多目的広場
内容	幅広い世代が一緒に楽しめるグラウンド・ゴルフで世界のウチナーンチュと親睦を深めた。
催事名	**海外移住者子弟研修生による三線演奏**
主催	ヒスパニック文化センター
日時	2006年9月～10月
会場	研修先の各市町村役場ロビー
内容	海外移住者子弟研修生による三線の研修発表。
催事名	**海外移住者子弟研修生による三線演奏**
主催	ヒスパニック文化センター
日時	2006年10月15日(日)
会場	チャンプルー交流祭
内容	海外移住者子弟研修生による三線の研修発表。
催事名	**「GAMA－月桃の花」海外上映版完成試写会**
主催	「GAMA－月桃の花」海外発信プロジェクトチーム
日時	2006年10月12日(木)　16：00～18：00
会場	沖縄コンベンションセンター劇場　(無料)
内容	沖縄戦終結50周年を記念して制作された映画。

催事名	**沖縄映画作品上映会「琉球カウボーイフィルムス第１回作品」**
主催	琉球カウボーイフィルムス製作委員会
日時	2006年10月13日(金)　15：00～16：30
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ｂ　(無料)
内容	「マサーおじいの傘」「SeeMe?」「HAPPY☆PIZZA」
催事名	**沖縄映画作品上映会「与那国カウボーイズ」**
主催	島　洋一
日時	2006年10月12日(木)～14日(土)　18：00～21：00
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ｂ　(無料)
内容	与那国島出身の高校生闘牛士を撮影したドキュメンタリーフィルム。
催事名	**沖縄昭和文化展**
主催	沖縄昭和文化展実行委員会
日時	2006年10月12日(木)～15日(日)
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ｂ　(無料)
内容	昭和の懐かしい映画看板、関連資料を展示。
催事名	**「沖縄語談話室」**
主催	沖縄語普及協議会
日時	2006年10月14日(土)　11：00～19：30
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ｂ1
内容	「沖縄語っし語やびら大会」「沖縄語談話室」「しまくとぅば交流会」
催事名	**沖縄・ハワイ東西センター国際人材育成シンポジウム**
主催	ハワイ東西センター沖縄同窓会
日時	2006年10月15日(日)　10：00～12：30
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ａ１
内容	テーマ「世界に広がるウチナーネットワークの推進・拡充、そして次世代を担う人材育成」
催事名	**沖縄研究世界ネットシンポジウム**
主催	琉球大学移民研究センター
日時	2006年10月15日(日)　13：30～17：00
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ａ1
内容	テーマ「世界の『沖縄学』へ」～琉球大学とハワイ大学との連携による試み～
催事名	**お茶席**
主催	社団法人　裏千家淡交会沖縄支部
日時	2006年10月12日(木)　12：00～　(300人定数終了)
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ａロビー
内容	お茶の振る舞い。
催事名	**ブクブクー茶を楽しむ**
主催	沖縄伝統ブクブクー茶保存会
日時	2006年10月13日(金)　13：00～　(300人定数終了)
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ａロビー
内容	ブクブクー茶の振る舞い。
催事名	**呈茶**
主催	日本礼道小笠原流煎茶流泉支部
日時	2006年10月15日(日)　13：00～　(300人定数終了)
会場	沖縄コンベンションセンター　会議場Ａロビー
内容	煎茶とその作法の体験。
催事名	**いけばな**
主催	いけばなインターナショナル沖縄支部
日時	2006年10月12日(木)～15日(日)
会場	会議場Ａロビー
内容	生け花の展示。

Ⅳ　全県的拡がりを見せた事業

1　広報事業

(1) 一般広報

①　キャッチフレーズ、ロゴマークの募集

大会の開催について広く一般に周知するとともに、大会成功に向けて機運を醸成することを目的に大会キャッチフレーズ及びロゴマークを一般公募した。

ア　キャッチフレーズ

a　募集期間
平成18年１月16日～平成18年２月10日

b　応募総数　251点

c　最優秀作品
「ひろがるチムグクル
つなげるチムチュラサ」
（那覇市　砂川）

イ　ロゴマーク

a　募集期間
平成18年１月16日～平成18年２月10日

b　応募総数　213点

c　最優秀作品

（八重瀬町　大城）

②　テーマソングの活用

大会テーマソングは各市町村、一校一国運動参加校に提供され、大会のＰＲに大きく貢献した。また那覇市立久茂地小学校では運動会でテーマソングを使ったエイサーが披露されるなど県内で大きな拡がりを見せた。

(2) 報道機関との連携

①　テレビ

種　別	番　組　名	内容（放送日／放送局等）
県広報番組	うまんちゅひろば	タイトル 「ジュニアスタディーツアー～第４回世界のウチナーンチュ大会プレイベント～」 平成18年８月26・27日 （沖縄テレビ・琉球放送・琉球朝日放送）
放送提供	ペルーの大地にウチナーンチュの絆深く	沖縄県人移住100周年記念特別番組の中で大会のＰＲを行う。 平成18年２月18日（沖縄テレビ）
	ジョートーＴＶ	那覇まつり特集番組で、大綱引きに参加しているウチナーンチュ大会の海外参加者にインタビューする。 平成18年10月８日（琉球放送）
	大会特別番組 開幕！世界のウチナーンチュ大会	開会式典をはじめ、県民各々の取り組みを紹介する。 平成18年10月12日16：00～16：54（琉球放送）
	スーパーニュース	世界各地で活躍するウチナーンチュをスタジオに招き、会場と繋いで大会の模様を紹介する。 平成18年10月13日16：55～17：55（沖縄テレビ）
スポットＣＭ15秒		平成18年10月５日～13日 沖縄テレビ　46回 琉球放送　39回 琉球朝日放送　40回